

専攻実習Ⅱ

講師名	山口 直己	実務経験等	農業研究センター、農業改良普及センターでの勤務経験を活かし、乳牛の飼養管理技術(搾乳、給餌、育成、繁殖等)を習得し、酪農経営の総合的な実践力を養うための実習を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・酪農	必修	2	通年	450	10
使用教科書・副教材	自作プリント等					
授業の目的	乳牛の飼養管理や搾乳の反復と、粗飼料の生産、調製、放牧技術を習得する。					
授業の到達目標	乳牛の飼養管理技術(搾乳、給餌、育成、繁殖等)を習得し、実践的な飼養管理を行うことができるようになる。					

月	学習項目	学習事項	時間	授業 形式	備考 (提出物等)
4月	草地管理 飼養管理	採草地の施肥管理について学習する 共進会出品の方法(毛刈り、調教)を学ぶ	18	実習	
5月	放牧管理 飼養管理	放牧牛及び放牧地の管理について理解を深める 搾乳手法について理解を深める	44	実習	
6月	飼料生産 飼養管理	牧草の収穫作業について学ぶ 乳房炎コントロールについて考察・認識を深める 先進地の飼養管理手法を学ぶ(6/17~19)	34	実習	レポート
7月	ICTの活用	生産性向上に向けてICTを活用した精密飼養管理について学ぶ	16	実習	
8月	農場HACCP	農場HACCPの審査・認証に向けて生産工程管理の実践について学ぶ	30	実習	
9月	飼料生産	粗飼料収穫、調製技術について学ぶ	20	実習	
	削蹄技術	牛の保定及び削蹄技術を学ぶ(9/18)	8	実習	
10~11月	家畜人工授精講習会	家畜人工授精講習会受講	188	講習会 実習	
	繁殖管理	発情鑑定、直腸検査について理解を深める			
12月	飼養管理	妊娠診断、分娩前後の管理を学ぶ	16	実習	
1月	飼養管理 まとめ	寒冷期の管理について理解を深める 酪農経営に関する基本技術の再確認	32	実習	
	酪農当番	朝夕の家畜飼養管理当番を通し、飼養管理(給餌、搾乳、哺育・育成、たい肥処理等)の実際を習得する(学生一人当たり年間30日)	45	実習	
		合計	451	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実習作業態度、提出物の内容、出席状況、習熟度合を勘案して総合的に評価する。

評価割合: 習熟度60%、平常点40%

履修に当たっての留意点等

授業は牛舎、搾乳施設及び草地で行うので、事前に連絡のない限り作業服、帽子、長靴、手袋を着用し、筆記用具メモ帳を携帯すること。直腸検査の際は爪を切っておくこと。実習では作業機械及び家畜による事故が生じないよう指示に従って、常に気を抜かず細心の注意を払って臨むこと。